

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 群馬森林管理署
所在地	群馬県 多野郡 上野村
面積	119.35 ha
設定年	1977(S52)年 4月
保護林の概要 (設定目的)	岩角地といった特殊な立地において、ヒノキを主体とした天然針葉樹林が形成され、学術上及び森林施業上の考証として貴重である。また、天丸山山頂の岩角地にはハコネコメツツジの生育地があり、生態学的考証の場として学術上貴重である。このため、土地的極相林として成立しているヒノキ群落、ハコネコメツツジ群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ヒノキ群落に調査プロット2箇所、ハコネコメツツジ群落に調査プロットを1箇所を設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	保護林全体に中齢から高齢級のヒノキが健全に生育しており、保護対象種であるヒノキは良好な状態で維持されているが、下層植生にニホンジカの食害による影響が顕著に表れ、植被率の低下、スズタケの枯桿、また立木の剥皮が目立ち、ニホンジカによる被害に留意する必要がある。ハコネコメツツジ群落は前回調査から特に変化はなく、良好な状態で維持されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。